

国立国際医療研究センター レジデント海外フィールド実習 帰国報告会

2013年1月15日(火) 18:30~20:00

国立国際医療研究センター 国際医療協力研修センター5階大会議室

下記の研修よりフィールド実習に参加したレジデントの帰国報告会を行います。

【第8回国際保健医療協力レジデント研修】

全期間3カ月間、うち10日間は国際保健医療協力研修に参加。

残り期間は各自の選択した海外フィールドでの実習。

【国際臨床レジデントプログラム】

後期臨床研修プログラム(4年間)の1つ。

小児科もしくは産婦人科に所属し専門医取得を目指しつつ、国際保健の実務も体験。

3年次の1年間は国際医療協力局に所属。

■プログラム■

1. レジデント研修について 国際派遣センター長 仲佐保

2. 大西 賢人(産婦人科レジデント2年)

訪問地: ラオス、カンボジア、日本

主なテーマ: 技術協力プロジェクト中間レビュー、産科診療、コミュニティレベルでのNGO活動、カウンターパート研修の実際

3. 小田 紘子(救急科レジデント3年)

訪問地: マダガスカル アンタナナリボ、アンチラベ、マジャンガ

主なテーマ: 産科診療、救急医療体制・患者紹介システム

4. 小林 泰一郎 (ACCフェロー3年)

訪問地: タイ メソット難民キャンプ診療所

主なテーマ: ミャンマー少数民族難民診療、院内感染症対策

5. 都築 慎也(国際臨床レジデント3年)

訪問地: ザンビア, Project for Scaling up of Quality HIV/AIDS Care Service Management

主なテーマ: アフリカにおける小児ART

6. 講評 病院長 木村壮介

